

伊豆東部火山群

○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

○ 概況

・噴煙など表面現象の状況

伊東市に設置している遠望カメラでは、噴煙などの表面現象は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2、図 3、図 4 ①）

13日に伊東市街の西北西6km付近の浅いところを震源とする地震が一時的にやや増加しました。最大地震はマグニチュード¹⁾2.5で、熱海市網代などで震度1を観測しました。この地震活動に伴う地殻変動は観測されず、その後、地震活動は静穏に経過しています。火山性微動は観測されませんでした。

最近では2004年1月にもこの付近（図3の領域A）で一時的に地震がやや増加しましたが（最大地震はM1.8）、火山活動に特段の変化はありませんでした。

1) マグニチュード(M)は地震の規模を示す。資料中のマグニチュードは一部暫定値を含んでおり、後日変更することがあります。

・地殻変動の状況（図 4 ②～④）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変動は認められませんでした。

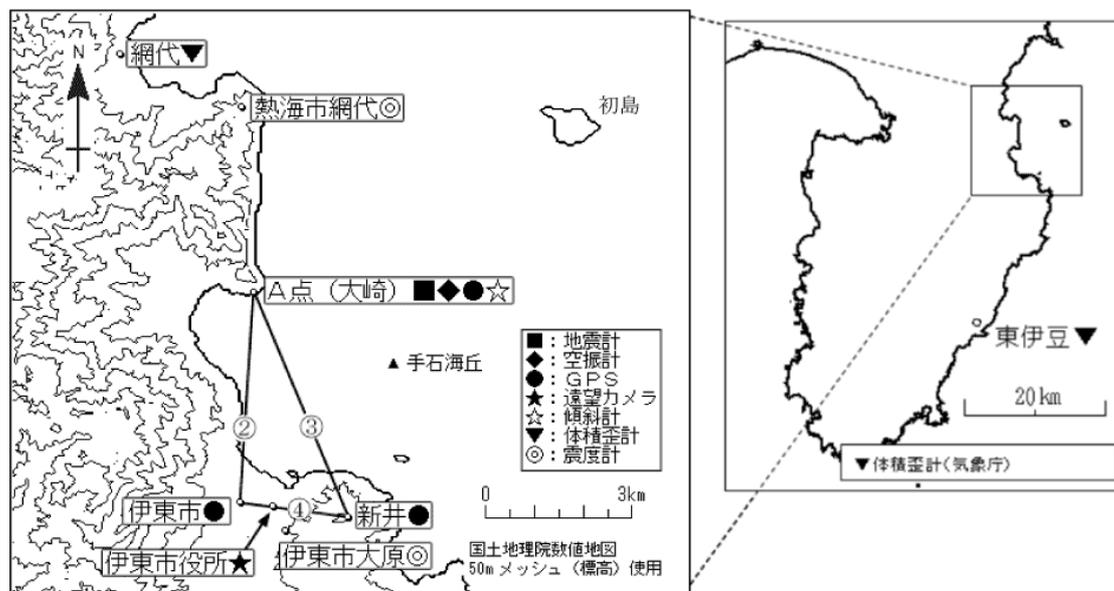


図 1 伊豆東部火山群 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
GPS 基線②～④は図 4 の②～④に対応しています。

※ この資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

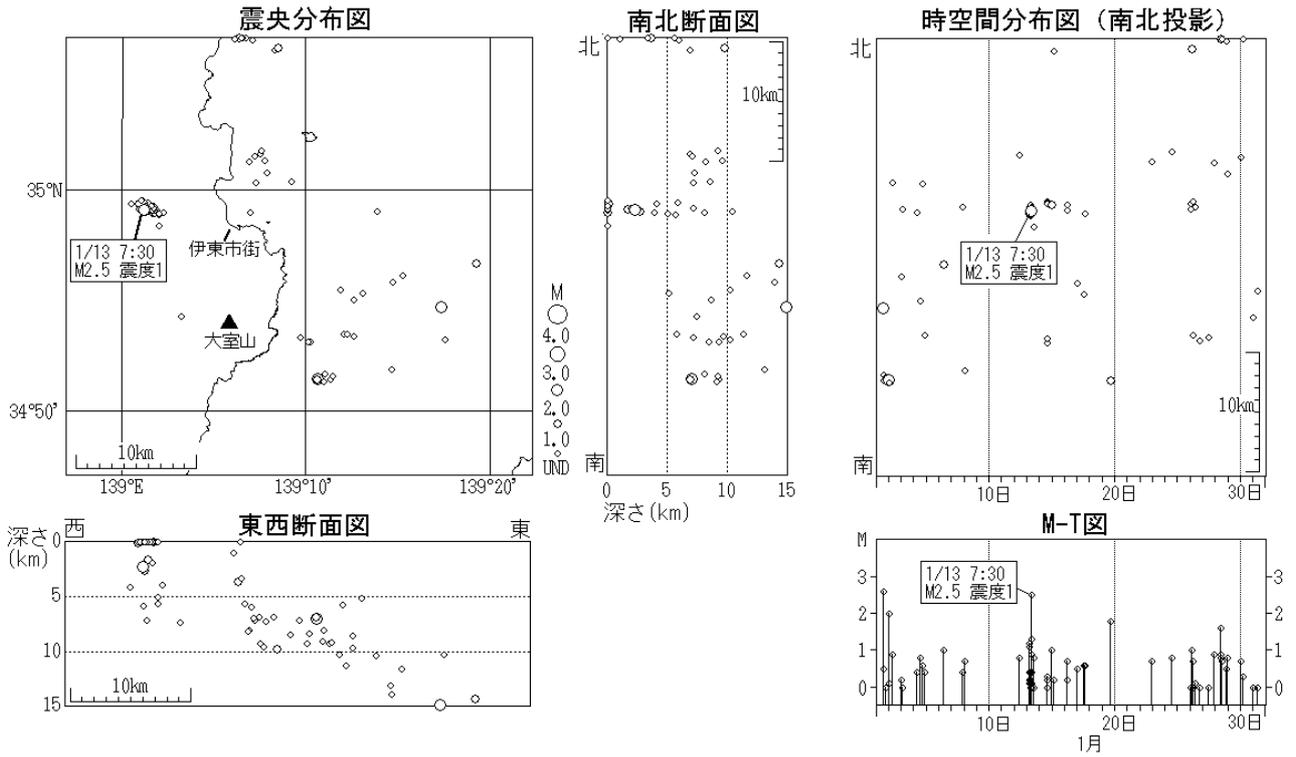


図 2※ 伊豆東部火山群 地震活動経過図 (2007 年 1 月 1 日 ~ 1 月 31 日)

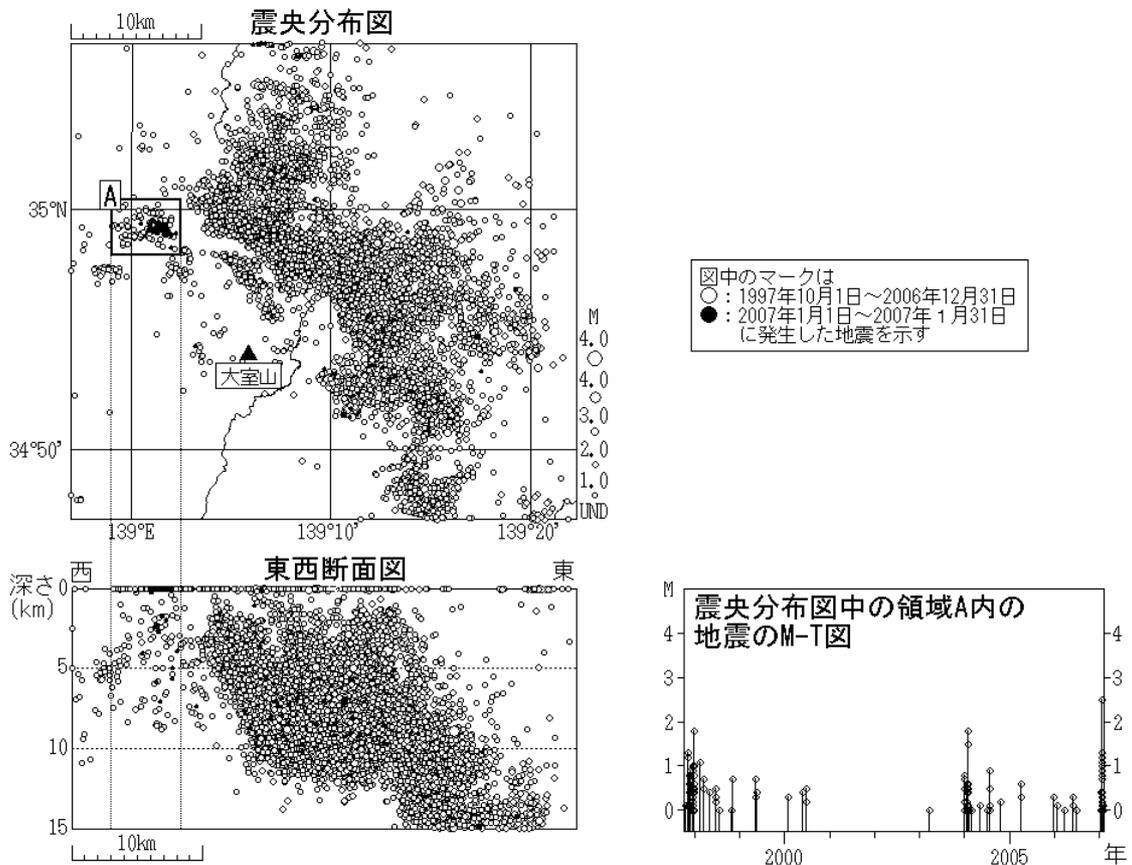


図 3※ 伊豆東部火山群 地震活動経過図 (1997 年 10 月 1 日 ~ 2007 年 1 月 31 日)

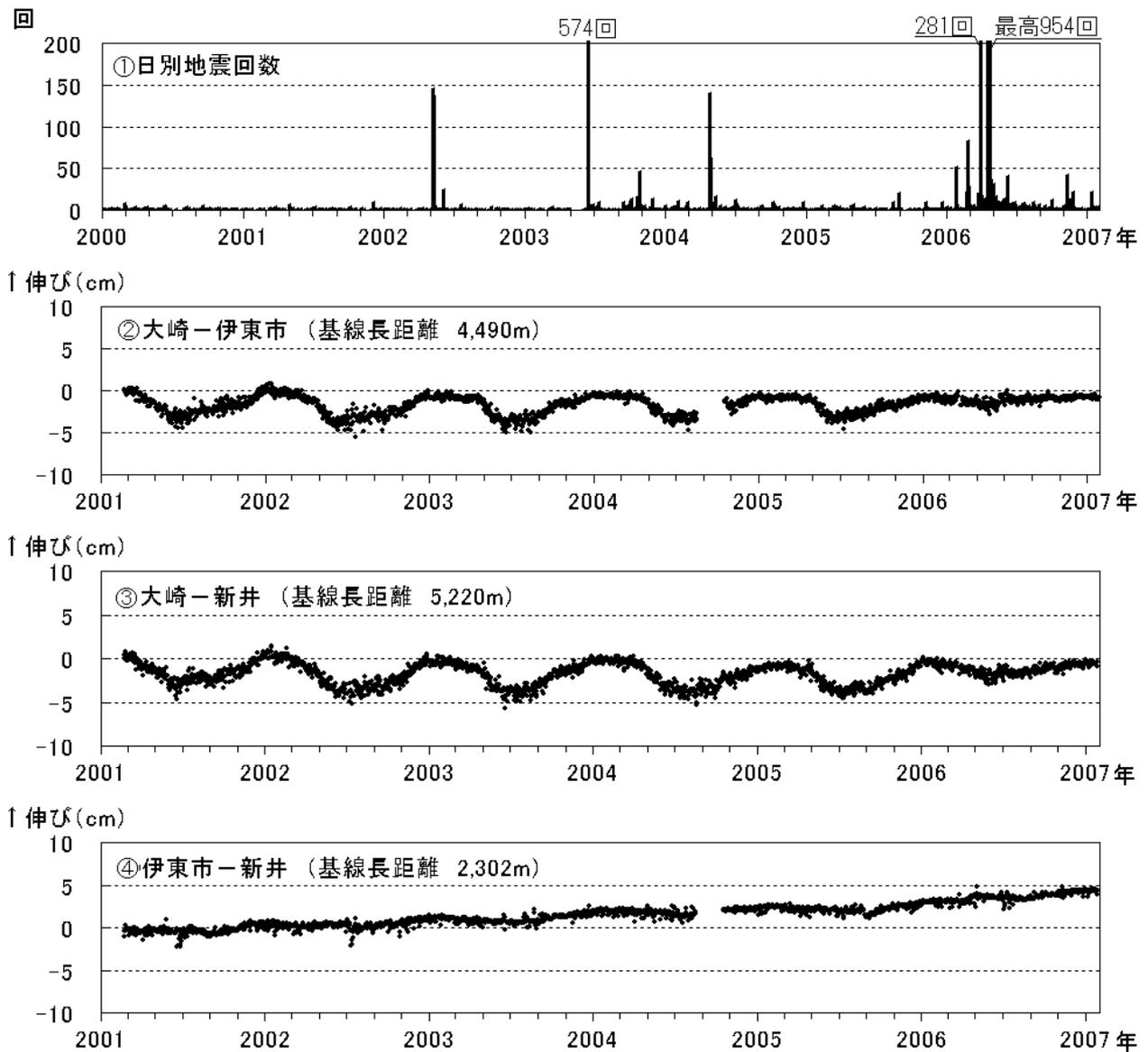


図4 伊豆東部火山群 最近の火山活動の推移（2001年1月～2007年1月）

- ① 鎌田地震観測点による日別地震回数
- ②～④ GPS連続観測による基線長変化（観測開始は2001年3月）
基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。
②～④は図1のGPS基線②～④に対応しています。